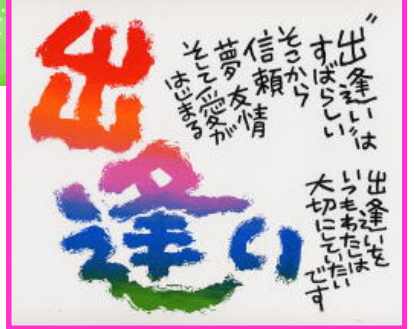




校長室だより No.17 令和6年7月19日(金)

## 出逢いをいつも大切に いのち輝け

私には、いくつかの宝物があります。その一つは、私が教職に就いた年から大好きになった詩人須永博士（すながひろし）さん直筆の色紙。平成9年(1997年)8月15日に、偶然立ち寄ったショッピングセンターで須永博士さんの個展が開催されており、感動のあまり2点を即購入。以来、担任した学級の教室に、色紙を入れた額を必ず掲示していました。感銘を受けた数々の作品の一つに、『出逢い』があります。



2024年4月4日、新入生21名と新たに出逢い、全校児童191名、教職員31名の令和6年度がスタートしました。今年度は、常盤小学校創立150周年記念を祝う年でもあり、これまでの行事に変化を加えたり、新たな行事を増やしたりしながら、1学期間を子供たち、教職員、PTA、地域の方々と共に歩んできました。

運動場の真ん中で、全校児童と教職員が人文字で校章を描いた航空写真。岩山の前には、学校を花で飾ろうという子供たちの願いを受け、学区の方々の協力を得て常盤学区で採掘された巨岩四石で作られた風格ある花壇。運動会では、「さ150（いこう）到達点」を目指してフラフープを使いながら躍動した下学年が、手形アートで「祝150周年」の文字を披露。上学年は、「一天濤快」の曲に合わせて力強く華やかに舞った後に、各カラーのリーダーが、騎馬の上から「祝150周年」の文字の掲揚。また、子供たちのアイデアから作られた



マークがデザインされた記念Tシャツや、間もなく完成する常盤小学校のキャラクター。そして、子供たちが自主的に実行委員として会を準備・運営し、全校児童と教職員が夢中になって運動場を駆け回りながら水をかけあつた、150周年記念竹水鉄砲最強決定戦。今年度の新たな取組により、子供たちが笑顔にな

った機会がこれまで以上に増えました。そして何より、心に残る貴重な『人、もの、こと』との出逢いが生まれました。まさに、運命的な出逢いであると感じています。そして、このすてきな1学期の歩みは、191名の子供たちが、毎日元気に過ごしてくれたことに加え、保護者の皆様や学区の方々の多大なお力添えのおかげであると感謝しています。



明日から39日間の夏休みに入ります。家族や親類、友達、地域の方々とふれあって、さまざまな経験や体験をし、最高の『人、もの、こと』との出逢いの中で、「強く正しくすこやかに」成長していけるとよいと思います。文字通り「39」「サンキュー」「ありがとう」と感謝すべく、特別な日々が送れますようように。8月28日に、元気いっぱい、笑顔いっぱい、豊かな心いっぱいの子供たちに、再び出逢えることを楽しみにしています。